

一粒の麦・⑧滝乃川学園

石井亮一・筆子記念館は、日本で最初の知的障害者福祉施設である滝乃川学園が、1928年、東京市豊島区巣鴨から当地に移転した際に、本館として建設された木造2階建ての建造物である。教室・講堂・学園長室などを備え、長らく校舎として利用されたが、老朽化により閉鎖され、1994年には解体が決定した。しかし、当時の国立市議会議員で後に市長に就任する上原公子や、学園職員らがこの決定に反対し、2000年、当時の吉村庄司理事長（第11代）以下経営陣は、本館の保存・修復を決定し、有志らが「本館保存修復事業募金を支える会」を発足させた。2007年、修復工事が着工され、翌年に竣工。「石井亮一・筆子記念館」と命名された。



荻野吟子記念館 所在地 埼玉県熊谷市俵瀬 581-1

Copyright (C) 2019 oainoainkokinenkan All Rights Reserved.



女人禁制の医学校に特例
で通える事になった吟子。
苦肉の策で男装して登校
したが、激しい差別の厳し
い毎日となる。
2019.05.02

